

マネージメント情報

※ リポートリーダーへの体外受精卵の追い移植…⑤

今回は体外受精卵作出のスケジュールについて紹介します。

現在は火曜日(東藻琴)、金曜日(釧路)の2回体外受精卵を作出していて、畜産公社まで住谷獣医師が卵巣を取りに行っています。

東藻琴はこちらで卵巣を子宮から切り離す作業をしなければならないので朝7時前には出発しなければなりません。東藻琴も釧路もBSEの検査結果が出るまでは卵巣の持ち出しができませんのでひたすら待たなければなりません。

検査結果がでると直ちに中春別のラボまで車を走らせ、到着しだい作業が始まります。東藻琴の場合は4時前後、釧路の場合は6時前後になります。一度BSEの検査結果がでるのが遅くなり8時前に到着ということがありました。

		AM							PM												
		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
月		09																			
火	05		畜産公社(東藻琴)										卵胞吸引・成熟培養								
水	07												凍結		媒精			裸化			
木	06	08	OPU		成熟培養		凍結														
金	07	09	06	媒精			畜産公社(釧路)					卵胞吸引・成熟培養									
土	08	07					凍結		媒精			裸化									
日	09	08								凍結											

卵胞吸引に約1時間、次に吸引した卵子の検索、卵子の洗浄の後成熟培養の手順で一日目は終わりますが早ければ8時、遅ければ10時11時になります。

21時間後に媒精(体外受精)を行い、その6時間後に裸化という最終作業を行います。

上記の表のような時間帯で行っており、みなさんが想像する以上に細かい顕微鏡下での時間厳守の仕事です。

またOPUは水色で示しているように、毎週木曜日と希望がある時には金曜日に行っています。

メインは谷澤(師)・住谷(弟)コンビで行っていますが先月から私も積極的に参加しています。

表には載っていませんが、この他に時間に合わせた準備(こっちの方が大変です)や後片付け、毎日希望のある時間帯での新鮮卵の装填作業や配送、凍結作業があります。

・今回は体外受精卵の作出スケジュールを紹介しました。時間に縛られながら夜を夜を頑張っていることをちょっぴりわかって欲しいと思います。これも一頭でも多く受胎して次の乳期に繋いでいきたいという一念からです。

・雪虫も現れたとか…本当に一年は早いですね。ボチボチ朝晩道路の凍結が始まります。お互い車の運転には十分に気をつけましょう。